



杉戸中央ロータリークラブホームページ <http://www.sugito-chuo.com>

第669回 例会2008. 4. 3

司会 真中親睦委員長
点鐘 小柳会長エレクト
ロータリーソング 奉仕の理想
四つのテスト唱和 渋谷会員

理事会報告

小柳会長エレクト

■ 5月の例会予定

- 1日 誕生・結婚祝 ロータリーの友勉強会
ジェイク・カウンセラー報告
※例会終了後、理事会があります
- 8日 あいさつPJ 杉戸泉小学校 7:30～
モーニング例会 すかいらーく杉戸店
- 15日 あいさつPJ 杉戸東中学校 7:30～
モーニング例会 すかいらーく杉戸店
- 22日 通常例会 会員卓話
- 29日 夜間例会 高橋屋 18:30 点鐘

3月22日(土)会長エレクトセミナー(PETS)があり、ほぼ1日ばかりで研修を受けてまいりました。まず、ここで次年度の主な行事の日程を報告させていただきます。

新年度に入って、すぐ7月10日(木)ガバナー公式訪問、11月15日、16日埼玉県文化センターにて地区大会、2009年2月14日(土)IM大会を予定しております。



4月17日(木)大宮ソニックシティにて、地区協議会が開催されます。ロータリークラブの運営においては、非常に重要な研修会になりますので、各委員会の委員長は、責任をもって対応していただきたいと思っております。

カウンセラー報告

小柳会長エレクト

ジェイクのホストファミリーである藤田さんが、5月1日から9日まで、お嬢様の留学先であるスイスに行かれることになりました。つきましては、藤田さんが留守の間、ジェイクのステイ先を探さなければなりません。皆様ご協力お願いいたします。

4月5日から17日まで、ジェイクは、来日する叔父と共に関西・四国(大阪、高松、姫路、神戸、奈良、京都、高野山、高山、伊勢)を旅行することになっています。徳島では、徳島RCの留学生サムムのステイ先にお世話になるそうです。ジェイクには、旅行の詳細を求めたのですが、ほぼ連絡先しか書かれてありませんでした。我々日本人と欧米人の感覚の違いもあると思いますが、広範囲の都市を旅行するので詳しくは、決まっていなかったのかわかれます。今回の旅行先には、歴史の名所も多く、彼には、日本の文化に触れる良い機会です。是非、学んだことを帰国した際に、彼の友達や家族に伝えてほしいとお願いしました。それが今自分のしなければならぬことであり、立場であるとも伝えておきました。そして、自分がいかに恵まれた環境であるか、それを与えてくれた両親、ロータリークラブ、ホストファミリーに対し感謝するべきであると諭しました。おそらくジェイクもわかってくれていると思っております。来月の例会では、今回の旅行の報告を皆様にできると思っております。

幹事報告

- 今月のロータリーレートは、1ドル 98 円です。
- 東京浅草のロータリークラブより会員名簿地図が送られてきています。上野・浅草方面へお出かけの方は、参考になさってください。
- 各クラブより例会変更の案内がきておりますので、事務局へ問い合わせください。

ロータリーの友 勉強会

RI の会長のメッセージの一部をご紹介します。 「ロータリーは、政府とは何の結びつきも義務もない。宗教的にも、政治的にも中立な団体として確立されている、ユニークな特権をもっています。私たちは、飲み水や食糧を供給したり、読み書きや計算を教えたり、災害の援助を行ったり、ポリオを終結するという様な、援助を行う男女のグループとして尊敬されている。」これは、ロータリーの活動を端的に表現された言葉であります。私たちがこの様な活動を心がけていきたいと思っています。

以前の勉強会でポリオについて話しましたが、再びこの問題について取り上げたいと思います。

「ロータリーの 1 億ドルのチャレンジとは何か」

ポリオ撲滅のためにビル・ゲイツ財団がロータリー財団へ 1 億ドルのチャレンジ補助金を寄付しました。これに答えて 3 年にわたり同額の資金集めをするという活動です。この両者を合わせた 2 億ドルの資金は、ニーズの多い世界ポリオ撲滅推進計画に投入されます。(P26 参照)

では、このチャレンジに答えるために、私たちのクラブがどの位の負担になるかというと、会員 25 名で計算すると、1 人年間¥4000 になります。これを 3 年間続けると、世界全体からみると 1 億ドルになります。ゲイツ財団の「チャレンジ補助金」に対しての同額募金を集める締め切りは、2010 年の 12 月 31 日です。3 年ということですから、期間が少ないですけれど、全世界に向けて、「ポリオ撲滅の終結宣言」をするといった大きなねらいですので、我々も協力していきたいと思っています。

中野幹事

ポリオ撲滅に関しては、ロータリーが、全部資金を出していると理解されがちですが、実は、ロータリーとしては、ゲイツ財団の資金などを含めても、撲滅資金全体の 15% ほどです。したがって資金源ではありません。主要な推進力になっているということです。

京都府に、我が地区自慢の一つは、「不朽のポリオ撲滅活動」であるというすばらしい地区があります。地区としては、大変すばらしい活動を展開しているので、是非、参考にしたいと思います。(P37 参照)

ライラ研修報告

私達は、国際ロータリー第 2770 地区ライラ鹿児島研修に参加させて頂き、戦争の醜さや、特攻隊員らの辛さを改めて痛感することができました。

1 日目、鳥浜トメさんのお孫さんの経営される富谷旅館で、私達は「特攻弁当」という、特攻隊員の方々が食べていたお弁当と、同じものを食させて頂きました。そのお弁当の中身は、おにぎり 2 つ、大根や鶏肉の煮物など 3、4 つと漬物にめざしという、質素なものでした。味はもちろん美味しかったのですが、今の日本のようなスパゲティやハンバーグなどというものとは違い、少しものたりないものがありました。このようなお弁当を特攻隊員の人々は食べていたのです。

その後、私達はその特攻隊の支援をされていた鳥浜トメさんのお孫さんからのお話お伺いしました。トメさんは、いつも特攻隊員の背中を流してあげていたそうです。ある日、特攻前日の少年達の背中を洗っているトメさんは、明日には、もう会えなくなってしまう少年達を哀れに思い、思わず涙ぐんでしまいました。そんなトメさんに気づいた少年らは、「トメさんどうしたの？」とききました。さすがに、真実を言うことはあまりにも辛いので、「おなか痛いなよ。」と言いました。すると、「じゃあ、僕が死んだら治してあげるよ。僕はこれから神になるんだから、きっと治せるよ。」と、思わぬ言葉が返ってきたそうです。「僕が、死んだら、おばさんやこの家を守ってあげるからね。そして、蛍になっておばさんのところに行くから、もし蛍をみつけたら僕だと思ってね。」と言い、その少年は、その次の日、飛行機で旅立って行きました。とても少年とは思えないような思いやりのあるやさしい



新井会員

中野有真



言葉でした。

トメさんは、その年の5月、まだ蛍などいないような時期に、たった1匹の蛍が食堂の近くで光を放ち、飛んでいるのをみかけたそうです。今まで多くの特攻隊員を見送ってきたトメさんは、こう言っていたそうです。「世のため人のために生きるということは、若者の目を輝かせる。多くの犠牲者があって今の平和がある。そのことを忘れてはいけない。」このことは、今生きている私達も忘れないで、さらにそれを他の人々に伝えていかなければならないと思っております。

ライラ研修生報告

穂刈 瞳

私は、資料館である1枚の写真を目にしました。館内撮影禁止だったため、残念ながらお見せすることはできませんが、その写真は、17、18程度の少年らが、笑顔で子犬と写っている写真です。しかし、その



写真に写っていた少年らは、特攻前日の兵士だったそうです。そこに私は、疑問を持ちました。なぜ、あの少年達は笑っていたのだろうか？今の私達は、普通「明日死んでしまう。」と分かったら、とても笑顔になんかなれません。その写真を撮影された朝日新聞の記者は、「どうして君たちは笑っているのか」と、聞いたそうです。すると、皆、口をそろえて「国のために死ぬるから、死んだら神になれるから。」と言っていたそうです。しかし、それは、本心でしょうか？本当に願っていたことでしょうか？私は違うと思っています。本心は、泣き崩れ、逃げ出したいくなる気持ちだったでしょう。資料館には、特攻隊員の特攻前の手紙が展示されているのですが、数枚の手紙の中に端のほうに少しにじんでいるものがありました。それは、私は涙のあとのように見えました。本当に特攻とは、辛い宿命だったのだと改めて感じられました。しかし、明日旅立つにもかかわらず、故郷の母を気遣う内容の手紙があり、私達よりもはるかに大人のように感じ心を打ちました。国のために戦争をやっていたはずなのに、実際その国の人々にとっては、悲しい別れと貧しい生活だけが残りました。仮に、戦争に勝っていたら、私達は、幸せだったのだろうか。私は、そうは思えませんでした。たとえ勝ったとしても、

戦争という悲惨な事件に巻き込まれるだけ、勝っても負けてもみんな同じ気持ちで悲しくなり、いやになるだけなのです。

私は、今回の研修旅行に行き行ってテレビで見た戦争の記録が、現実であったことを改めて実感しました。直筆の最後の手紙を見た時、この少年が、操縦かんを思いきり傾けて戦艦にぶつかって行く瞬間、何を思い、何を考えたのか、想像せずにはいられませんでした。

トメさんが言うとおりの、今の平和な日本は多くの犠牲者によってつくられました。私達は、戦争によって命を落とした多くの犠牲者に感謝し、そして学ばなければならぬと思います。

私達は、歴史の教科書には、載っていない現実の戦争を知ることができました。貴重な体験をさせてくれたこの研修に参加させて頂き、本当にありがとうございました。



4月の誕生祝・結婚祝

真中親睦委員長

4月生まれの会員

細井 健司会員(5日)

4月生まれの夫人

菅原 なぎさ様(1日)



出席報告・スマイル報告

真中親睦委員長

会員数	出席	欠席	MU	出席率
23	11	12	7	78.26%

新井会員：躍動の季節となりました。

小柳会員：今日は、夜桜最高の様です。今月の17日の地区協への出席をお願いします。

菅原会員：次年度の委員長のみなさん、ご協力をお願いします。

中野幹事：ライラ研修に娘と穂刈さんの娘さんを参加させて頂きありがとうございました。来年も是非宜しくお願いします。

折原会員：栗原会員：渋谷会員：武井会員：

浜名会員：真中会員：渡辺嘉一会員

ご協力ありがとうございました